

3月の園たより

令和2年度 第69号
いちごえ保育園分園
電話：996-5455
Email:ichigoe@woody.o
cn.ne.jp

保育園の周りでは、たくさんの草花が咲きわたり、春の訪れを感じるようになりました。一年の締めくくりの3月を迎え、月日の流れの速さを感じるとともに子どもたちはいろいろな活動を経験し、一回りも二回りも大きくなり、卒園・進級に向けて期待で胸を膨らませています。

今年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため運動会や発表会などの大きな行事が縮小されました。子どもたちの頑張っている姿・楽しんでる姿を直接お見せすることができなかったことは残念ですが、そんな中でも、それぞれのクラスで子どもたち一人一人が目標に向かって、友達と一緒にやり遂げたときの活き活きとした表情はとても素敵でした。ひまわり組さんが、のぼり棒の練習をしているときクラス内からは「がんばれー!!」と友達を応援する声や、お兄ちゃんお姉ちゃんの姿を見て憧れの存在を抱いたり、それぞれの成長へと繋がっていくのだと感じました。

保護者の皆様には、この一年間、新型コロナウイルス感染拡大防止の緊急事態宣言を受け、登園自粛・家庭保育のご協力などたくさんのご理解とご協力をいただき心より感謝申し上げます。これからも新型コロナウイルス感染拡大防止対策に努めるとともに、残りの一か月、楽しく充実したものにしていきたいと思ひます。



今月のわらい

- 進級することを喜び、期待をもって生活する。
- 異年齢児とのふれあいを楽しむ。
- 戸外に出て、自然に触れる中で、季節の変化を感じる。

今月のうた

- ♪うれしいひなまつり
- ♪またあおう
- ♪みんなともだち
- ♪たいせつなともだち

今月の予定

- 3日(水) ひな祭り会
- 4日(木) ゆり・ひまわり組遠足
- 9日(火) 修了写真撮影
- 18日(木) お別れ遠足 お弁当会
- 24日(水) 誕生会
- 27日(土) 卒園式
- 29日(月) 修了式
- 30・31日(火・水) 新年度準備

3月生まれのおともだち



たんぽぽ組

おおしろ きよはる さん



お知らせ

- ・3月3日(水) ひな祭り会、おしゃべり着の準備をお願いします。
- ・3月18日(木) お別れ遠足は、食べきれないくらいのおやつ1個を持たせてください。(チョコレートやガム、あめ玉は持たせないでください)
- ・3月27日(土) 卒園式は職員全員でお祝いしたいので、すみれ・たんぽぽ・ちゅうりっぷ組は家庭保育のご協力をお願いします。
- ・3月30日、31日は新年度準備のため、家庭保育のご協力をお願いします。31日登園される場合は弁当持参になります。
- ・4月1日は入園・進級式の日です。在園児は通常保育となります。

雛人形

絵本コーナーに飾られているとても豪華な雛人形は、いちごえ保育園分園の嘱託医ペリー内科の院長先生より寄贈されました。地域の方々も子どもたちの成長を見守ってくれているということを感じ、とても嬉しく思います。院長先生、素敵なお雛人形ありがとうございました。保育園の宝物です!!

「子どもへのまなざし」(佐々木正美・著)を読んで本の内容を抜粋し紹介したいと思います。【親が育児する喜びというのは、二つの観点があると思うのです。ひとつは子どもに期待できる喜び、もうひとつは子どもを幸せにすることができる喜びです。今、この瞬間を幸せにしてあげよう、その積み重ねがこの子の幸せになるのだという育て方がいいのです。(中略)問題は、子どもと接している時間をどう過ごすかということです。朝、保育園に預けて、夕方引き取りに行きというぐあいに、子どもと過ごせる時間がたとえ短時間でも、あるいは休日ぐらいしかないとしても、その時間に子どもとどう接するかが大切なのです。(中略)保母さんから聞いたお話なのですが、休日の次の日に、「お休みの時なにをしていたの」と、子どもたちに話してもらおうとすることがよくあるそうです。子どもたちは、「ディズニールランドにいった」、「デパートに買い物に行きいいものを買ってもらった」などと口々に言います。その中でとても印象的だったのは、「きのうね、お母さんがつめを切ってくれたの」という子どもの話でした。お母さんの膝の上に抱っこされながら、お母さんの肌のあたたかさを感じながら爪を切ってもらった記憶が、とてもいいイメージで、その子どもの心に残ったのでしょね。どこか遠くへ連れて行かなくても、なにか特別なことをしなくても、子どもの心にとどく、親子のふれあいはできるのです。子どもといっしょにいる時間を、大切にすることがあれば、子どもにきっと伝わるのです】
一日の仕事を終えて子どもを迎え、夕飯作り 入浴 寝かしつけ。6時に迎えて9時に就寝とした場合、子どもとふれあえる時間はたった3時間。そんなゆとりのない時間の中でも子どもにとっては親とふれあえる大切な時間。髪を乾かすドライヤーの時や、頬と頬を近づけて寝る前の絵本読み聞かせなど、子どもとのふれあいを大切にしようと思ひました。